

聴覚障害教育の専門性向上に向けた教員養成の在り方



【中野キャンパス】人文社会学部 教育学科 小学校・特別支援コース 准教授

鶴田 敦司 Tsuruta Atsushi

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 特別支援教育・聴覚障害・指導法・授業改善



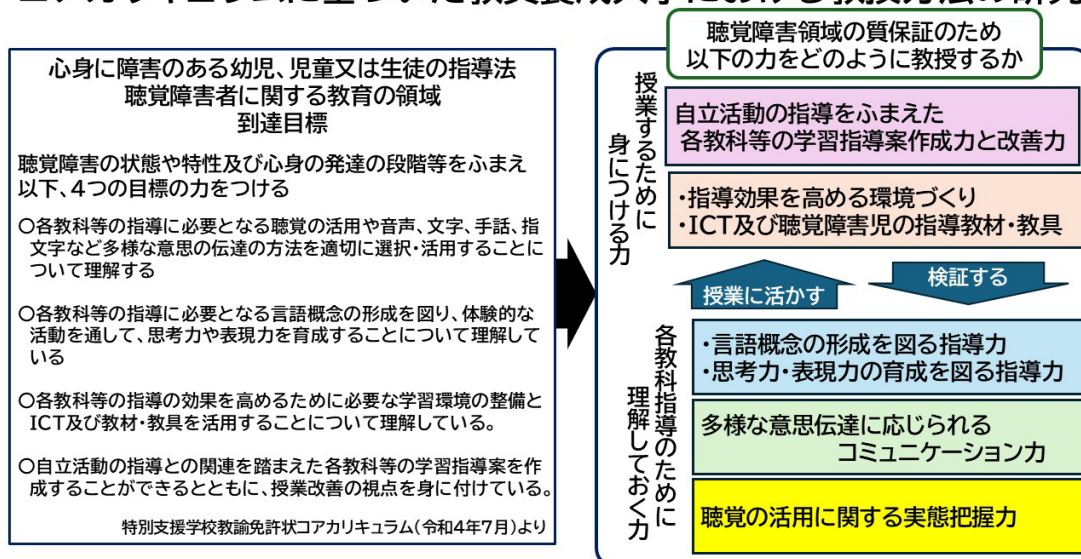
研究の概要

SDGs 目標 4：質の高い教育をみんなに

「令和の日本型学校教育」の構築を目指す答申が出され、特別支援教育を担う教師の専門性向上を図る重要性が指摘されています。その会議の中で、特別支援教育の充実に関し、大学へも様々な提言がなされてきました。それを受け作成されたのが「特別支援学校教諭免許状コアカリキュラム」です。本コアカリキュラムは、全国の大学において一定の基準を設定し、教員養成の質保証を実現することに目的をおいています。聴覚障害領域に関する授業においても、本コアカリキュラムに基づいたシラバス作成及び授業内容の転換を図ることが重要になっています。

私の研究は、聴覚障害教育の専門性向上を目指すことを目的とし、聴覚障害教育に携わる教師の質保証の観点から、コアカリキュラムに基づいた聴覚障害教育の指導法および教育課程における教授方法の在り方について実践・検証を重ねていきます。特に指導法における学生の実践的な授業力の向上を図るため、聴覚障害がある幼児児童生徒の実態を把握する力に焦点をあて、どのように大学の授業を計画、実践、評価していくかを探っていきます。

コアカリキュラムに基づいた教員養成大学における教授方法の研究



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

本研究は、聴覚障害のある子ども達の教育を担う教員養成のための研究になります。高等教育機関である教員養成に取り組む大学の特別支援学校教諭免許状コアカリキュラムに即したシラバス作成や授業改善につながります。

特に、実際のろう学校での教員経験を活かして、今後の指導法の取り組みにおいて、学生の模擬授業の実施方法及び評価等の在り方について考察していく研究になります。

また、特別支援学校（聴覚障害）の初任者研修等の校内・外での研修内容につながる実践研究にもつながると考えています。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

- ・『聴覚障害教育における「主体的・対話的で深い学び」』
- ・『特別支援教育転換期から見る聴覚障害教育の動向と課題』
- ・『教職課程コアカリキュラムを反映させた「聴覚障害教育の指導法」の在り方』